

男性用シャワーが丸見えの海の家！女の子たちにおちんちん見せつけちゃう！

俺は毎年夏になるとこの小さな海水浴場にやって来る。理由はただ一つ。この海の家にある男性用シャワー室だ。

ここは古い海の家で、ものすごく簡易的な造りになっている。男性用シャワー室は、ビーチから戻る人々や近くを歩く女の子たちから丸見えになっている。仕切りは腰の高さまでしかない。砂まみれの体を洗う男たちの姿が、ま

るでショーケースのように外に晒されるのだ。

俺は見られるのが大好きだった。幼い頃から、誰かに裸を見られることに奇妙な興奮を覚えていた。特に、若い女の子たちの視線。恥ずかしさと快感が混じり合い、下半身が熱く反応するあの感覚。今日も朝からビーチで泳ぎ、わざとこの時間帯にシャワーを浴びに来た。午後2時過ぎ。女の子たちが一番多い時間だ。ビキニ姿で砂を払いながら歩く彼女たちの笑い声が、すでに俺の胸を高鳴らせていた。

タオル一枚を肩にかけ、俺はシャワー室に入った。水着を脱ぎ捨て、全裸になる。冷たい水が頭から落ちてくる。最初は普通に体を洗うふりをしながら、周囲を観察した。通路を挟んで、ビキ

二姿の女の子たちが何人も行き交っている。大学生くらいのグループ、20歳前後のスレンダーな子たち、かわいい水着を着た元気な女の子たち。みんな笑い声を上げ、楽しそうに歩いている。彼女たちの視線が、時折シャワー室の方に向けられるのがわかった。

1人の女の子が近くを通りかかった。ピンクのビキニを着た、ショートカットの可愛らしい子。20歳くらいだろう。俺はシャワーの角度を調整するふりをして、体をゆっくり彼女の方へ向ける。腰を少し前へ突き出し、ちんちんを彼女の視線の方へ向ける。濡れた髪を振りながら、自然な動作を装って。